

早生種エダマメにおける土中 緑化と普通栽培の収穫量の比較

- ・土中緑化の効果と実証的確認
(早生品種を用いて種まきを実施)

東総学園 園芸科2年 第1班

•代表者(班長) 上野 貞治

•メンバー

鈴木 健男	平木 秀明
藤本 忠勝	小林 悦子
横田 浅治	高岡 豊司
上野 正	塙 芳子
藤ヶ崎 弘	弟子丸幸子

•発表者 鈴木 健男

作業日程

- 4月24日 畑づくり(牛糞堆肥等)
- 5月 3日 土中緑化した苗の植え替え
- 5月18日 2回目の土中緑化用苗づくり
- 5月26日 同上苗の植え替え
- 追肥及び灌水 適宜実施
- 7月15日 除草作業
- 8月10日 収穫・

畑づくり 汗を流しながらの労作

1班集合 体力は自信あり



苦土石灰と土を耕す



十分な発芽 あまり伸びないうちに摘芯



植え替え

成長を祈って



大体でいいです！



除草と灌水 肥料十分雑草の伸びも早い



順調な生育

頑張って実をつけている

強風に耐えここまで成長



収穫

期待以上の収穫



普通栽培と比べ収穫量大



比較

1株あたりの個数チェック
左 直播き 右 土中緑化



同じ株数における収穫量の比較



比較 その2

元気のよい5株を選び全量比較する。

第1回目

直播き	185個
土中緑化苗	306個

第2回目

直播き	140個
土中緑化苗	332個

栽培のまとめ

- 土中緑化摘芯苗は、直播きに比べ収穫量では約2倍あった。しかし、苗つくりの段階で1回目は失敗、2回目は反省を生かし、苗つくりを行った。苗つくりが重要であることを実感できた。
- 今後の取り組みとして
そら豆などに挑戦してみたい。調べてみると、太陽にさらすだけでも良いとあるので、このような方法にも積極的に取り組んでみたい。
- 研究項目の他に、トウモロコシ及びサトイモの栽培を行い、この2つは手入れが行き届き収穫は満足できた。